

# 東北の時事

行發日廿日十日一回三月每  
 吉梅越堀行發兼輯印  
 一廿日丁一町平縣島福  
 社報時工商北東所行發  
 圓一金行一料告廣  
 錢月ヶ一錢十金部一  
 圓三共稅郵年ヶ一

## 局支社本

福島市外八島三河尻  
 石城郡小名濱町  
 双葉郡富岡町  
 相馬郡原町  
 信夫郡飯坂町  
 東白河郡柳田町  
 東京市足立區本木

和洋鐵銅  
 金物店  
 目丁五町平  
**店商屋釜**  
 番九九 話電

## 大森家財産横領

### お家騒動

## 悪辣極り無き後妻タマ

### 大正十二年より今日に至る

#### 茨城縣那珂郡神崎村横堀にて

明治四十四年頃大森福松氏の所へタマ後妻となりその間にあさ子、廣治、さこ子一男二女が生れたが先妻の子長男關之助次女マツ(環雄光の妻)次男冬之助(鹿志村氏の養子となる)があり圓滿なる家庭を結んでゐたが、

大正十二年頃長男關之助は妻を迎へたので福松夫婦は隠居株となり。本宅に監督相續人たる關之助が生活してゐた所十月下旬福松氏が關之助に對して杉林を賣却せんと云ひ出したが此の杉林は本宅のものであるに反對し父子の意見が合はず争となりこれ**財産横領お家騒動の導火線**となつた。

此の争ひが親戚である大森鐵吉氏が間に入り示談となりその杉林を福松氏四分本宅六分の割にして六百四十圓で賣つた

所が後妻タマ子は自分の子供である廣治に對して大森家の財産を幾らか與へて呉れ福松氏に云へ寄りそこで福松氏は關之助に四分六分に分け様と云ひ出したが關之助は頑として聞き入れなかつた。二分ならば分けるだが福松氏もそれにも應じないそれで解決が出来ぬので福松氏は大森鐵吉氏に相談を持ち込み歎願をしたそれで鐵吉氏も關之助に話をつけて本宅が七分田畑山林四町歩、廣治が三分五厘(田畑山林約一町歩)として解決を遂げたその四町歩の中一町五反田一反三畝を福松隱居の分として福松氏が死亡したならば關之助の物になると約束を致して和解したのである。所が大正十四年春四月頃後妻タマは區劃を貰つたけれど名義が慾しいと福松にせまつた所が關之助は福松氏に對して俺にも相談せず後妻を貰つ

初め親戚にすがりやつこの事で左の通り決定したのである。  
 廣治(當時十一才)に名義を與へ後見人タマとして同時に本宅關之助にも使用してゐる二町四反歩の土地だけ與へる事になつてゐた所、大正十五年一月隱居宅の**井戸へ茶色の粉を入れた者**があつたそれで大騒ぎとなり所々方々鑑定して貰つた所血止と稱し山間に生ずる毒物であつた。

後妻タマが**本宅夫婦共謀**して隱居夫婦を毒殺して名義を取るのだと云ひふらしたそれが警察騒ぎとなり半月經た所駐在所(神崎村)の渡邊銀之助巡査(現在死亡)が後妻タマが本宅夫婦を無實の罪に着せ様として計つた事である。隠居タマの捕縛に向つた驚いたのは福松氏である顔面蒼白となつて大森鐵吉父子の所へ走り始末を頼んだので大森父子は直ぐ渡邊巡査に無心をし歎願してやつこの事で**内濟**ですすますことになつたのである。

その事件が起きてから關之助は性質温順なので自分の持つてゐる財産の重要書類が本宅に置く事が不安となり大森鐵吉氏に書類を頼み込んだ併し大森氏は他人の財産をあつかふ事が出来ない。隱居福松氏に相談し、**頼んだのが抑も**

の誤ちであつた所が一昨年關之助はチブスに掛り十一月死亡したのである。昨年十一月になつて隱居福松の名義なるもの約一町歩が後妻タマの實弟小林熊吉(元警部)に書き換へてあつたのが發見したのである、それで登記所に行つて調べた所隱居福松の土地を百五十圓で熊吉に賣つた様になつて居たのであつた**悲しいかな隱居福松は文盲の爲め、後妻タマに蹂躪されるに至つたのである。**

昨年十一月二十一日故關之助の妻クラの岳父鴨志田八郎右衛門氏が大森家の全掛人大森鐵吉及專之助、加藤末吉、鹿志村秋次郎等四氏に相談を持ち込んだ所鹿志村秋次郎は病氣を理由として一切皆様にまかす相談に應じなかつたので後の三氏が後家クラその子チヨノ(十才)の將來夫關之助の亡き後は如何にして生活致しますか何れも福松氏に話を致して居ました所同氏は關之助が死んでも本宅は決して潰滅しない關之助の財産は無きさずと與へますけれどクラは女であるから關之助の子チヨノに與へるが名義はやれぬとそれで三氏は再三頼んだが應じないそれで熊吉の名義になせしたのか百五十圓を借用して何處へ使用したか強談判となつたがオレは知らぬと辨解したそれも文盲によるものである、福松氏非常なる問題となつて來た所へ**後妻タマが私を爲した仕事である**云

(記事二面續)

ひ出した、では夫の知らぬ間に何故するか云へばタマはクラに頼まれたからである。それと云へばタマはクラに頼まれたからである。病氣入院の費用のお金を頼んだ土地を賣つて呉れよと頼まぬと其處でタマとクラの議論争ひとなり圓滿なる解決の見込みがた、ず止むを得ずして告訴に及んだ時、田那邊常吉、鹿志村博の兩名が鴨志田八郎右衛門氏へ来て告訴を取下げ控へて呉れ二日待つて呉れとの申込みにより待つ更に福松氏は兩名に頼み五日待つ様にと頼んだのであるが五日過ぎて一週間経過しても不得要領を得ず八郎右衛門氏は親子クラ、チヨノ三人が相伴つて福松の宅へ訪問し福松に對して娘を引き取るから返せと詰り込んだ所、娘は歸せぬ本宅はつぶさないよと承知せぬので仕方なく八郎右衛門は歸宅したのである。

間もなく裁判所へ申請する呼出し三十日間延期した。

**其の間奸計に長けた彼のタマは小林熊吉と共に** 福松の抵當物権約二町八反歩五百圓同郡神崎村大字向山、小澤力之助より借用本年三月二十二日これを二號書とし小港萬助より四百圓借用これを二號書としたのが本年四月九日右の事が發見偶然と云はうか福松氏が四月十九日に家を出た切り戻らず同郡神崎村向山字笠松にて縊死を遂げてゐた事が發見されたので一頓座を來たし一時裁判停止となり現今に至つても何等手段をせず後妻タマが福松名義なる財産を近親者(タマの關係ある者)に書き換

**へ完全に横領を企んだ、駐在所あり水戸より僅か三里許り離れてゐる** 神崎村に重大なる問題起きあがつてゐるのに傍觀し強慾非道極悪極り無き後妻タマ共謀し見做される小林熊吉を見逃がして居ることは何んたることであるか。吾人はこの問題は立派な横領事件ではないか、我社は地方民に敢て公平なる批判に訴へ一日も早く解決を遂げさせたい我社は調査の上筆を取り皆様に公開するのである。

かやうな重大事件を調べないで放つて置く事は我社としては忍び得ない事である。

**大森福松氏 縊死を遂ぐ?**

去る四月廿二日の出来事 神崎村向山字笠松にて

大森福松氏は本年四月十日、發見する迄に不可思議な八日に茨城縣那珂郡佐野村事が二三あつたそれは次の佐和の針醫元徳と稱する宅様な事であつた。

各所に分れて捜査に出かけたが解らずに居た所後妻タマが西方には探しても居らず東方辰巳方向國道より山の方東へ探せば見付かるらうと指揮今朝横堀へ行き歸宅の途中水戸方面は何等手懸りが無かつたとの事で青年は分

方面西方ぬかた停車場附近で集合地點船場鎮守に行く途中大森廣治(後妻タマの長男)の妻が前方にひよこり表はれた多分先廻りをして警戒して居たのだらう彼の青年六名が追跡したが及ばず廣治の姿を見失ふそれで青年が二派に分れ捜査に向つた。門部の宿で小林熊吉氏と青年がばつたり會つた。

青年が福松氏の行方不明の件に就き尋ねた所熊吉氏は昨夜その件につき通知を受けたそれで今太田町の方面へ行きはせぬか太田町の黒川商店へ電話を以て聞くために出掛ける處であるとの回答で更に私宅へ行つて呉れと云ふたそれで青年は熊吉氏の宅へ訪問挨拶に出たのは熊吉氏の娘であつたことである。

歸宅した許りであること云ふて居たその一言で以つて青年達は餘りにも矛盾した曖昧な事であると思つてごちらへ行きましたと尋ねたら學校前の坂を下りて行きましたとの事で早速追跡した案の條自轉車の跡がありありと發見明瞭となりそれを頼りに辿つて水戸方面に行く途中國田にて小港萬助氏に出會ふた。小港氏は後妻タマの申立により所

**輕卒な檢死の仕方 疑問の點多し**

他殺の疑ひあり

縊死を遂げた現場に既にならぬのである。念の爲め署へ電話を掛ける、醫師は閉ぢ舌は上齒に巻き付いて死體の検査をする。署より通の儘であつた(縊死のヒ容態だけ見て後妻タマの子はねじれ亦足が地面につ大森廣治を或る人家(笠間)に連れて行つて見ても知る事調べないとは不可怪である

**廣治と鹿志村 冬之助が來て 歸宅した許りであること**

所が熊吉が駐在所に高木巡査が居らぬ今横堀の地蔵前の雜貨店に居るから通知せよと青年に命令をしたのである、直ぐに高木巡査も現場に來て縊死のヒモを鹿志村冬之助に切り落させたのである。吾人は檢死の方々が來る前にそんな事をしよといふのが不可怪に思ふのである。高木巡査は伏してゐる死體の目と舌、財布を調べた所、目と舌は何の異状も呈せず福松氏が出掛けた時財布の中に四圓六十錢許り書類が澤山這入つてゐた(後妻タマの申立により)所

**怪しげな假裝 坏雄光氏を襲ふ 先般死亡す**

去る五月二十八、九日競馬の最終日の頃マツ(福松氏の娘)の夫坏雄光氏が夕刻頃家から隱居の家へ行き遊び歸りの途中神崎村字塚宮の邊を通りかゝるこ一つの麥わらより怪しげな假裝をした者が表はれ雄光氏驚きの餘り坏雄光氏方に逃げ込む餘りの驚きよりそれがもつて引續き病が重くなり先般死亡したのである。

後妻タマの身内がした仕業に相違が無い事は解る。

何んぞ悪計に長けた者であらう。氣の毒なのは雄光氏で彼等の奸計の犠牲者となつた。



# 縊死現場に於て 父が死んで満足

## 叫ぶ冬之助等

### 彼等の奇怪なる態度

#### 青年團組合員憤慨

現場より検死隊が引取られたのである、吾人は大森と同時に冬之助は現在實父家が大正十二年より引續きが死んでゐるのに「父が死財産の事で問題となつてゐるで満足である」と再三云ふに福松氏の自殺を有耶ふた、奇怪なる言葉を發した。それを聞いたのは冬之助の助氏との間に問答をばしめたが、かかる場合であるといふ引上げて大森専之助氏宅に行き専之助氏も亦冬之助氏(隠居宅)に行き議論となり憤慨して歸宅の途中、青年團並に組合へ謝罪に廻り歸宅した。

# 曖昧な 死體檢案書

## 駐在所がないも同様

翌日隠居宅の近親等二、三名が更に謝罪したのである。去る四月二十二日大森福もない當然である。松の縊死に關する竹内醫師の死體檢案書を見ると元治す様な様子がない、最終日元年四月二日生、男、職業(十九日)は無理に元徳がは、無、縊死、簡單なるものゝ福松は用があるといふ、二十三日の夜後妻マの近親者の手によつて福松氏の死體を清めクラ及びチヨノの近親者には絶對手をふれる事を拒むた事實がある、翌日入棺する時土地の風習等も守らず形式だけで済ました、その時に福松氏の娘(坪雄光の妻)が父の人青年團組合員は裸體にする有様を我社は現場を見、たのである。それでマツは仕方に泣き叫ぶに及ぶ時後何んと竹内醫師の曖昧なの駐在所高木巡査に相談を持、着した時に天城天皇大同元年(一)と亦々奇怪な言葉を發對する疑問が起るのは無理と云ふた、何んぞこの村の

駐在所は小林熊吉の駐在所か高木が司る駐在所か我社は判断に苦しむのである、非常なる問題である。

# 風光明媚參拜者多く 會津柳津虚空藏尊

## 紅葉狩に好適地

會津柳津驛の東南約五町、元木は同國の清澄に得能のところにある圓藏寺と稱満虚空藏を刻み、中木は常であつて參拜者が甚だ多い。本堂は風光絶美なる只を彫み末木は越の海(日本見川の碧潭に臨み高き巖上)より會津川(只見川)を遡つて柳津(柳津)に止つた。大師此の地に之れを得運出世疑ひなしと。その東北約三町に奥の院あり。今特別保護建造物となつてゐる奥の院辨天堂で建築の様式全く室町時代禪宗佛殿の特色を發揮して居る。

川上やこの川下と月の友松尾芭蕉  
福満虚空藏大縁起  
靈巖山菊光堂は臨濟宗妙心寺派に屬して居る。  
東北屈指の巨刹である。  
皇の御宇大同二年徳一大師の創立するところであるが、これより先第五十代桓武天皇の延暦二十三年弘法大師入唐して金胎兩部の秘密及祈誓したるに三鉢は高野山に愛樹は安房國天野浦に漂着した時に天城天皇大同元年八月である。大師は愛樹を三つに分ち再び海に投じて有縁の靈場を求め給ふに

火の厄に遭ひ古書什器の運滅したのは残念である。現在の伽藍は文政元年の火災の後住職喝殿を始め六衆徒及び信徒等の盡力と領主松平家の保護に依り建立されたものである。  
その縁日は  
(七日堂)は毎年陰曆正月七日行はれ、寒風積雪もいとはず裸體となり詣でる習であつて參拜者が甚だ多い(十二講)は陰曆三月十三日に行はれ特に十三才の兒童をして參詣せしむる時は智慧を増進し災厄を免れ開た。大師此の地に之れを得運出世疑ひなしと。  
が、即ち福満虚空藏大菩薩で靈驗殊に著しく爲に往昔より天下の名家歴代の領主深く菩薩を尊信した中にも織田信長、豊臣秀吉、同秀次、蒲生氏郷、上杉景勝、蒲生尊は日本三虚空藏尊の一に秀行及びその夫人(徳川家して環境風光明媚幽の聖域康の女)加藤嘉明、徳川家心身自ら清浄なり殊紅葉の宣及び松平家代々の尊崇厚節を利用して參拜附近名く明治の聖代を経て今日に勝の遊覽團體募集をしてゐ及んだのであるが幾度か水る。

# 會津柳津

## 虚空藏尊參拜

附名勝遊覽團體募集  
期日 昭和九年拾月六日、七日、八日、九日  
舊曆 八月廿八、廿九、一日、二日  
會費 一金拾參圓五拾錢也  
但復旅費自動車賃(宿泊料共)虚空藏尊護摩料(中食付共)  
募集締切十月二日限り  
申込の際は内金として壹圓五拾錢拂込の事  
柳津虚空藏尊は日本三虚空藏尊の一にして環境風光明媚燃ゆるが如き紅葉に飾られ心身自ら清浄ならしむ

# 遊覽名勝地

若松城 天下の名城にして史蹟に富む  
飯盛山 悲憤の涙滋き白虎隊の墳墓あり  
東山 日本名湯の一にして山紫水明の勝地  
温泉 地全山の紅葉は他に比類なき絶景  
温泉 著名な温泉場にして東北一の姫沼遊園がある、西南に磐梯の雄姿を望み風光亦愛すべきものあり

# 行程

十月六日 午前九時平驛集合同十一時十八分平驛發車當日柳津町一泊  
七日 柳津虚空藏尊朝護摩執行 當日若松中食白虎隊廻り東山温泉一泊  
八日 東山温泉出發 若松聯隊參觀 後市内見物中食午後一時若松發翁島御別邸猪苗代湖皮び辨天樓參拜沼尻温泉一泊  
九日 午後二時沼尻温泉出發 午後六時二十二分平驛着散會

雙葉郡富岡町  
學校用品 雜貨商 雙葉郡富岡町學校前  
藤澤材木店  
雙葉郡富岡町學校前  
雙葉郡富岡町  
學校用品 雜貨商 雙葉郡富岡町學校前  
大原本店

主 東北商工時報社  
後 昭活版所

盛大なる發會式

執行とれた

愛村婦人會生る

大久村長等盡力

去る八月十九日双葉郡大五日村長柳井義一氏等始め久村小學校に於いて愛村婦人會發會式を兼ね第一回總會を開催された。

農村更生の躍進の跡

幾多實績を擧ぐる

柳井義一氏

農村疲弊村政の亂れ目も地は六〇、一二八坪である。去る八月十九日双葉郡大五日村長柳井義一氏等始め久村小學校に於いて愛村婦人會發會式を兼ね第一回總會を開催された。

空の犠牲者の表忠塔除幕式

來る廿四日舉行

江名町長崎海岸

去る五月二十四日石城郡横三尺厚八寸、三尺臺石は江名町長崎の海岸に機械故御影石兩翼も同石、礎石は障のため墜落惨死した横須磯石である。

救助者へ感謝状贈らる

去る五月二十四日江名町因に墜落場所に園田男爵海岸へ海軍機の墜落に際し經營の天然榮養食品研究所人命救助機體の處理等に盡

平、小名濱間

鐵道施設の實現促進の運動

平町と小名濱町を繋ぐ平工式を繰延べされては將來小鐵道敷設はさきに議會を發展する兩町では大變だと

同鐵道は小名濱商港完成後に於ける連絡輸送と磐越東西線を延長して東西の海岸を繋ぐ重要な國防的意義を以て居るので關係町側では年來の希望である此の見地からして猛烈に政府に迫る方針である。

合名會社

東北化學工業所

平町北目町

難波醫院

平町新川町

桑原虎三郎

日本硫黃株式會社 耶麻軌道部主任

名湯化園鑛泉

神經系統胃腸病に靈効 東日川郡棚倉町 御料理 權現湯

萬屋自動車部

果物 萬屋商店 問屋 一般貨物貸切電話一七番 警城平町四丁目

株式會社常磐銀行

水戸市南町

福島支店

平支店

原町支店

浪江出張所

湯本支店

四倉出張所

植田支店

水戸市南町

株式會社シンガミシン

合資會社

柳津丸通運送店

社長 五十嵐惣吾

大黒屋勝次商店

本店 平町三丁目 支店 平町三丁目角

(常磐銀行前) 電話一六番

富岡座

双葉郡富岡町

増田科醫院

耳鼻咽喉科 平町南町 電話四八二番

平二業保健組合